

『心に光のプレゼント』 ～あなたの心は光り輝いていますか？～

ヨハネ 1:1～14

このクリスマス時期になるとあちらこちらで聞かれる「メリークリスマス」という言葉の本来の意味は「イエス様の誕生をお祝いする」という意味です。世の中では、この意味を知らずにクリスマスをお祝いしていますが、神様を知っている私たちはこのクリスマスの時だからこそ、一人ひとりが奉仕者であり、また礼拝者である必要があります。神は一人ひとりが光り輝くように望まれておられます。私たちはすぐに色々な物事を形にしようとし、何か形にして理解しようとし、しかし、それでは私たちに神が与えようとしているものは見えてこないのではないのでしょうか。ある一人の女の子は、クリスマスに父親にプレゼントを用意していました。いつもお酒を飲み歩いて帰ってくるどうしようもない父親は、その日に限って早く家に帰って来ましたが、そして娘からプレゼントを受け取りましたが、心がずさんでいた父親から出た言葉は「どうせ、お母さんに渡せって言われたんだろ」という言葉でした、そしてプレゼントを開きました。しかし、その箱の中には何も入っていませんでした。父親は「何も入っていないじゃないか」と娘に言いました。すると娘は涙を浮かべて「よく見てよ！」と父に訴えました。娘は、空の箱一杯に心からのキスを沢山込めてしまっておいたと言うのです。父はそんな娘の心からの純粋なプレゼントに心を動かされ、それまでのお酒付けの生活から自分を変える事ができたのです。この女の子の父親に対する純粋な愛が父の心を変えたのです。私たちも、私たちの事を純粋にそして命がけで愛して下さい方がおられます。神は私たちの心に光を与えようとして下さってイエス様をこの世に誕生させて下さいました。イエス様は私たちの為に十字架に架かれる為にお生まれになったのです。神の目的はただただ闇の中を歩んでいる私たちに光を与える事なのです。(イザヤ 9:1～2) だから、イエス様は闇の中で生まれる必要があったのです。そのイエス様の誕生を最初にお祝いしたのは、羊飼いと東方の博士達です。羊飼いは天使の導きでイエス様を知る事ができました。東方の博士達は赤星を頼りに、自分たちの力でイエス様のもとまでやってきました。そして羊飼いはその事を人に伝えました。博士達はイエス様に捧げものをしました。教会に集まる私たちも同じです。羊飼いや博士のように方法は違えど、光を受けた人は自分がすべき事を心からする事ができるのですその為には形にとらわれていては自分が闇の中にいる事も気づけません。しかし、自分が闇の中にいると知れば光を自分で探し求める事ができるのです。クリスマスの時、私たちは本当の心でイエス様を向かえる準備ができているのでしょうか。その様な私たちにクリスマスとは**①目標を与えるもの**。聖書の中にはイエス様の誕生に際して多くの人々が色々な役割を果たしています。同じように私たちにも役割があります。あなたの中に今、目標があるのでしょうか。イエス様は3年で弟子を育て、多くの人々を変え、たくさんの御業を行いました。私たちにもできます。なぜなら、目標を与えて下さる神が共にいて下さるからです。**②あなたの心に変化をもたらします**。イエス様の光を知り変化しない人はいません。毎週の礼拝においても光を受けていれば必ず変化します。しかし、心のない状態だと変化することはできません。礼拝を何よりも大切に、自分から光を捜し求めるものとなりましょう。**③あなたを目標とする**。ろうそくは自分自身のものを用いて周囲を輝かせます。私たちも自分自身で光を放てるものとなりましょう。自分が多くの人々の目標となるような人生を私たちは歩む事ができるのです。クリスチャンが奇跡をもたらした話しは世界中にたくさんあります。戦争中、徴兵された一人の牧師が歌った賛美がきっかけで一日休戦になった話や、難民収容所で絶望の中、食べることもできず、死を待っているような生活をしていた少年をアメリカのボランティアの青年の愛の力で絶望から希望に変えられた話など…。私たちがイエス様に愛されている事を本当の心で受け入れた時、人々を照らすことのできる人へと変えられます。私たちはもっと変化できるのです。私たちが多くの闇の中にいる人々の目標となり、多くの人に神の愛を流せるようになるのです。このクリスマスだからこそ、私たちが本当の心でイエス様の誕生を喜び、心から迎え入れる事ができますように！